

福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	減災工学	
科目基礎情報							
科目番号	0031			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	産業技術システム工学専攻（エネルギーシステム工学コース）			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料						
担当教員	金澤 伸一						
到達目標							
①地震、津波、水害、火災、土砂崩れといった災害に対するハード面の対策を説明できる。 ②災害に対するソフト面からの対策を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	地震、津波、水害、火災、土砂崩れといった災害に対し、ハード・ソフト合わせた総合的な減災対策について学習する。						
授業の進め方・方法							
注意点	随時小テストを実施するので、授業中もその対応ができるようにしておく。 減災についてハード、ソフト両面から総合的に説明するため、各自治市や県の地域防災計画等を読み、減災の全体像を把握することに努める。 定期試験の成績を70%、随時実施する小テストの成績を30%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	総論		災害の歴史		
		2週	津波災害 1		津波被害の歴史と対策 1		
		3週	津波災害 2		津波被害の歴史と対策 2		
		4週	地震災害 1		地震災害の歴史と対策		
		5週	地震災害 2		地震災害と対策		
		6週	地震災害 3		地震災害における都市型災害		
		7週	地震災害のまとめ		震災と復興事業		
		8週	火災		火災の歴史と対策		
	2ndQ	9週	地盤にまつわる災害 1		液状化とその対策 1		
		10週	地盤にまつわる災害 2		液状化とその対策 2		
		11週	地盤にまつわる災害 3		土砂災害		
		12週	地盤にまつわる災害 4		土構造物の被害とその対策 1		
		13週	地盤にまつわる災害 5		土構造物の被害とその対策 2		
		14週	地盤にまつわる災害 6		地盤環境問題		
		15週	総括		全体のまとめ、答案の確認		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0